

中央大学 会計人会 会報

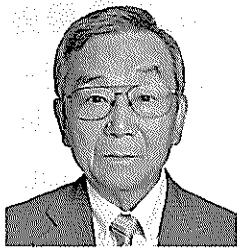
発行所 中央大学会計人会

〒116-0003 東京都荒川区南千住5-25-14

税理士法人 荻野会計事務所内

<http://chudai-kaikeijin.jp>

発行人 会長 荻野弘康



顧問 神山 敏夫

この度、荻野弘康会長の推薦により先の理事会において中央大学会計人会の顧問に選任されました公認会計士・税理士の神山敏夫と申します。

我が国の税務・会計における大先達が集うこの中央大学会計人会の顧問という名誉あるお役目をいただいたことに身の引き締まる思いです。

私は富岡幸雄先生のゼミの落ちこぼれではありますが、不撓不屈の精神は見に沁みついているようです。在学中の昭和39年公認会計士第二次試験に合格できましたのも幸運だけではなかったと思います。こうしてヒヨコ会計人としての一歩が始まったのですが、今年は奇しくも公認会計士制度創設70周年そして私が公認会計士になって50年の記念すべき年であります。光陰矢の如しであります。

中央大学会計人会では、平川忠雄会長の下で副会長も経験させていた

いただきました。この間多くの会計人との交流があり今日の私があるものと思います。感謝で一杯です。恩返しではありませんが会計人会の推薦で中央大学の評議員や財団法人白門奨学会の監事として公益法人化のサポートをさせていただきました。現在大学と直接的な役職の関係はありませんが、今年から同窓生の親睦と研鑽そして母校の興隆に寄与することを目的とした中央大学南甲倶楽部の監事を務めております。

さて、私は、三次試験合格後独立しましたが、その傍ら監査法人制度が創設されましたので当時の昭和監査法人（現EY新日本有限責任監査法人）で上場会社の監査にも従事しておりました。指導公認会計士であった恩師の誘いで協会活動への係りが始まりました。このとき35歳でしたがそれ以来協会の諸々の委員会の委員を経て本部の税制委員会の委員長を務め理事にも就き並行して東京会の常任幹事・副会長・そして平成10年6月には日本公認会計士協会東京会（関東甲信越地域）会長に選任されるという自分自身思わぬ道へ入り込んでしまったというのが実感です。会長職は、当時業界の変革期

でもあり多忙を極めました但仲間
支えられやるべきことは成し遂げ次
代に引き継ぐことができたと思っ
ています。

会長退任直後金融庁から、公認
会計士第三次試験委員に任命され
るなど公的分野の活動にも忙殺さ
れましたが、現在は、本部の紛議
調停委員会委員長という役職に
就いています。

今年の3月には6年間務めた
(公財)日本相撲協会の監事を任
期満了で退任しました。

最後になりましたが、会計人会
各位の益々のご発展をお祈り申
し上げます。

経歴書

氏名

神山敏夫 (公認会計士・税理士)

生年月日

昭和16年11月18日生 (東京 渋谷区)

事務所

東京都千代田区麴町3丁目6番地5
号 麴町GN安田ビル1階

税理士法人 神山会計

神山公認会計士事務所 (〒102-
0083)

電話 03 (3264) 2623

略歴

(1) 昭和39年9月

公認会計士第二次試験合格

(2) 昭和40年3月

中央大学商学部卒業

公職等主なる役職

1. 日本公認会計士協会 (元) 東京会
会長 (現) 相談役
2. 公益財団法人 日本相撲協会
(前) 監事
3. 学校法人 中央大学 (元) 評議員
4. 公益財団法人 白門奨学金 (元)
監事
5. 中央大学南甲倶楽部 (現) 監事
他多数

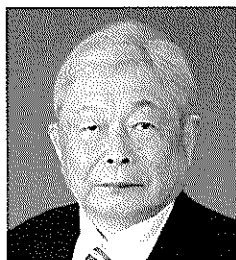
神山敏夫先生の顧問就任について

会長 荻野 弘康

この度、当会の顧問に富岡幸雄先
生 (中央大学名誉教授)、大淵博義
先生 (中央大学名誉教授)、平川忠
雄先生 (当会 会長退任後 顧問)
に加えて当会の事業に大変温かいご
支援をいただき、公認会計士、税理
士としても輝かしい実績をお持ちの
神山先生に当会の顧問としての一層
のご支援をお願いいたしましたところ、
ご快諾をいただき、心より感謝
いたしておるところでございます。

就任に当たりましてのお気持ち、
経歴等をお願いいたしましたところ、
今時の原稿をいただきました。

会員各位のご一読をお願いいたし
ます。



副会長 岩田 克夫

脱現金化へ動き急

～安心できる環境整備と教育が鍵～

キャッシュレス普及に向けた環境整備が大きく動き出している。昨年政府が未来投資戦略で示したキャッシュレス決済を4割にする目標達成も前倒しで進みそうだ。

経済産業省は2018年4月、産官学協同のキャッシュレス検討会の意見を取りまとめたキャッシュレス・ビジョンを公表した。クレジットカードや電子マネーでの決済比率を現状の2割程度から4割以上に引き上げる目標を2年前倒しの2025年にすべきとし、さらに高い比率の実現へ動く。従来型のプラスチックカードに加えてスマートフォンなどでのアプリケーション連携による多様なサービスが次々と登場する環境の実現を目指す。

日本の個人消費では、キャッシュレス決済の主役はクレジットカード。ユーザーが安全に、安心して利用できる環境整備が不可欠で、業界横断的にクレジットカードのIC化や決済端末の整備などの施策が進む。

1. 加速するキャッシュレス社会 世界で進む“脱現金”使って実感 スマート決済

日本でクレジットカードが誕生して半世紀あまり。

それまで現金払いが主だった買い物シーンがクレジットカードによって一変し、多額のお金を持ち歩かずに気軽にショッピングを楽しめるようになった。

近年は電子マネーやデビットカードも登場し、脱現金化が加速。

さらにはスマートフォン（スマホ）の進化によって支払いの利便性も向上している。

新たな「決済社会」を開く

～クレジットカード各社の取り組み～

クレジットカードの利用が様々な場面で拡大している。

2017年のカード決済額は16年に比べ8%増え58兆円強に達した。

カード各社の間ではAI（人工知能）の積極活用などを通じ、キャッシュレス決済の可能性を広げる取り組みが活発だ。

2. 世界のキャッシュレスの現状

（世界的に低金利が続いていることを考慮しても）日本のキャッシュ流通残高（対名目GDP比）は、諸外国と比べ突出して高い。

昭和48（1973）年、北欧スウェーデンではキャッシュレス社会が進

み、一部学者の説によると、国民背番号制導入下、高い社会福祉のための財源確保、国民の強い政府信頼の上、付加価値税が導入され、世界一現金流通は2%。

以下、南アフリカ、イギリス、カナダ、ブラジル等5%弱、韓国も6%と急速にキャッシュレス社会へと進化、現金流通量は激減している。

3.日本の現状

「決済のデジタル化（EコマースやB2Cの発展）」に伴い、日本の民間最終消費支出におけるキャッシュ（紙幣・硬貨）決済比率は穏やかながら低下。

とはいうものの、日本での現金決済比率は他の先進国と比べ依然として高い。（日本の「現金神話」は根強い）

2016年の民間最終消費支出（個人消費）の決済比率

現金	48.9%
クレジットカード	16.7%
デビットカード	0.3%
電子的支払	27.5%
電子マネーその他	6.6%

4. しかし日本もキャッシュレス化へ

「キャッシュレス」推進は、経済・社会変化に基づく「民間」からの能動的・必然的な動きが不可欠。

I 国内要因

【社会面】

- ・ 少子高齢化
- ・ 生産年齢人口の減少
- ・ 地方の過疎化加速
- ・ 個人事業の承継難
- ・ 間接コストの削減圧力

【金融面】

- ・ 現金管理コスト増加（年間8兆円との試算あり）
- ・ レシート電子化推進
- ・ レジ現金残高確認 作業負荷増加（中央値30分/日、平均値135分/日との試算あり）

II 海外要因

- ・ 入国者年間2,400万人（2020年に4,000万人/30年に6,000万人目標）
その国内消費額 3.4兆円は半導体部品輸出額（品目第2位）に相当（2020年に8兆円/30年に15兆円目標）
 - ・ 海外発行電子マネー/デビットカードとの互換性がない。
 - ・ 地方でのクレジットカード決済端末の導入が少ない。
- の二つの早急な解決を。

また、日本でキャッシュレス化が進展しない原因は

- ・ 個人情報保護（現金は「足がつかない」）
- ・ 日本では、紙幣/貨幣の偽造が少

ない

- ・現金は「使い過ぎない」（浪費防止の側面あり）
- ・システムダウン時でも現金は通用
- ・キャッシュレスに対応していない実店舗が多い

オリンピック、パラリンピックのイベント等から従来の延長的普及から爆発的普及になる蓋然性は高い。

5. 税理士業の皆さま、準備は出来ていますか？

よくある質問（勘違い）

- ・「キャッシュレス化」後も、銀行との関係は変わらないでしょうか？（銀行は「お金を預ける場所」・「融資してもらう場所」）

現 実

「第4次産業革命」、「Society5.0」、そして「FinTech」のもと、伝統的金融業務は解体・再統合の動き。

・預金：銀行以外のエコシステムが便利になった場合は、「電子マネー」・「ポイント」での保管が常識になる時代が来る可能性がある。

・融資（信用調査）：AI、ビッグデータを活用した「非伝統的金融業」の台頭の可能性がある。

「キャッシュレス」への変化スピードへの対応・準備ができていますか？

よくある質問（勘違い）

- ・「キャッシュレス」とは個人同士（C2C）のお金のやり取りが電子化することでしょうか？
- ・企業、関与先の「キャッシュレス化」は当分先のことでしょう？

・2018年4月の「キャッシュレス・ビジョン」で既に「企業と消費者（B2C）」に関する支払を検討対象の中心としている。

加えて、「政府と企業（G2B）」、「企業と企業（B2B）」、「消費者と消費者（C2C/P2P）」に関する支払についても、領域を拡大して検討することとしている。

成長余地大きい日本のキャッシュレス決済消費拡大に欠かせず、ビッグデータに注目

経済産業省によると、日本の家計最終消費支出に占めるクレジットカードなど「キャッシュレス決済」の割合は2015年で18.4%と、韓国（89%）や米国（45%）など各国を大幅に下回っている。政府は「未来投資戦略2017」の中で、27年までにキャッシュレス比率を4割程度まで引き上げる目標を掲げた。フィン

テック発展による新産業創出、利便性向上による消費拡大、インバウンド誘致などキャッシュレス社会実現の効果は絶大だ。ECのさらなる成長など、キャッシュレスの拡大余地はまだまだ大きい。

また非現金決済を通じ蓄積される購買動向などビッグデータの分析が進めば、幅広い業界で商機拡大が期待される。銀行、クレジットカード各社のキャッシュレス社会実現に向けた取り組みが今後も注目を集めそうだ。

全ての事象について「光と影」がある。光の当たる部分を大きく、影（デメリット）部分を小さく改善することが喫緊の課題である。

今年の船旅、オスロ、ロンドンの体験

「フロリダのディズニーワールドでは、提携したホテルにチェックインするときにIC機能付きのマジックバンドと呼ばれる腕輪をします。その後は、ディズニーワールド園内のアトラクションから飲食まで、すべてキャッシュレスです。位置確認も行い、アトラクションに乗っているところの写真撮影もしてくれます。イベントの予約から1日ごとのスケジュール管理までしてくれるそうです。」

今年の2月南極大陸クルーズ6日間、6月北極圏クルーズ5日間時も

乗船手続時に使用クレジットカード登録し、船室カードのみで下船時サインの一括支払。

ノルウェー、オスロの地下鉄カードで購入した乗車券をその後ポケットに入れたまま何度も乗・下車を繰返してもO.K。ロンドンでのテムズ川観光・市内バスもキャッシュレスでした。

現金支払出来、喜ばれたのはチップのみ。それも現地通貨か、世界通貨USドル20ドル札以下。それ以上の高額紙幣はニセ札嫌疑で受取にも「スカシ」確認？の時間を要した。日本の交通機関も乗車券不要のキャッシュレス、オスロ、ロンドン並みになるのはオリンピック、パラリンピックの前後ではなかろうか？

(参考文献省略)



会 務 報 告

副会長 石亀 邦俊

正副会長会－理事会

平成30年7月27日（於 中央大学駿
河台記念館）

議題

1. 事業活動報告

平成30年2月27日 正副会長会・理
事会

平成30年4月1日 観桜会・研修会
（上野 精養軒）

平成30年6月21日 平成29年度定時
総会・研修会・
正副会長会・理
事会

平成30年6月29日 日本税理士共済
会定期総代会

平成30年7月1日 荒川白門会設立
懇親会

平成30年7月4日 明治大学公認会
計士会定時総会

平成30年7月5日 日本大学桜門会
計人会総会

平成30年7月5日 青学会計人クラ
ブ定期総会

平成30年7月6日 公認会計士白門
会総会

平成30年7月9日 税理士三田会
定期総会

平成30年7月12日 神奈川大学会計人
会宮陵定時総会

平成30年7月14日 駒澤大学会計人
会定時総会

平成30年7月18日 専修大学会計人
会定期総会

平成30年7月18日 税理士稲門会定
期総会

平成30年7月21日 日本大学税理士
桜門会定期総会

平成30年7月20日 法政大学会計人
会定期総会

2. 新役員選任（理事・顧問）の追 加について

顧問に神山敏夫氏を選任

理事に高木容子（王子）・伊藤千鶴
氏（上野）・赤池照子氏（荒川）を
選任

退任理事は大野哲氏（板橋）

3. 会報 第24号の発行について

4. その他

（1）大学会計人会ゴルフ大会
平成30年10月5日（金）

於 佐倉カントリー倶楽部

（2）第27回 中央大学ホームカミ
ングデー（多摩キャンパス）

2018年10月7日（日）午前10時
無料生活相談会（税務会計無料相
談会開催）役員が担当

（3）第35回全国高等主算競技大会
への支援

平成30年10月7日（日）正午開始
中央大学多摩キャンパス三号館

（4）第22回全国大学会計人会サ
ミットへの参加

平成30年10月13日（土）

今回は、駿台会計人倶楽部が幹事
校となり御茶ノ水の明治大学校舎
で開催

統一テーマは「事業承継の実務」

大学会計人会ゴルフコンペ 開催報告

平成30年10月5日、恒例の大学会計人会ゴルフコンペが、中央大学が当番校となって千葉県佐倉カントリー倶楽部にて開催されました。

当日朝はあいにく小雨が降っていましたが、間もなく上がり、プレーには支障がなく、無事に終えることができました。

競技は従来どおりダブルペリア方式により、個人戦とともに各大学上位者3名のネットスコア合計で競う団体戦が行われました。

競技の結果の入賞者、ネットスコア等概要は次のとおりです。敬称略

個人戦

優勝	松野 淳子	
		慶応義塾大学 74.0
準優勝	鳥居 勇	
		専修大学 74.2
3 位	宮本雄司	
		中央大学 74.8

団体戦

優勝	中央大学	227.4
準優勝	慶応義塾大学	229.6
3 位	青山学院大学	246.2

以下省略

個人戦では紅一点の松野淳子氏が見事優勝し、ニアピン賞等も獲得していました。

中央大学会計人会参加者は個人戦

では3位、4位及び7位と健闘し、参加者中3名が10位以内に入ることができ、団体戦では昨年に続き連続優勝することができました。

当日の参加者は19名、参加校は次のとおりでした。五十音順

青山学院大学	青学会計人クラブ
慶応義塾大学	税理士三田会
専修大学	専修大学会計人会
中央大学	中央大学会計人会
東京富士大学	東京富士大学会計人会
早稲田大学	税理士稲門会

来年は早稲田大学が当番校となり企画開催される予定です。

初参戦ご希望の方、是非お問い合わせください。

連絡先：

電話 03-3551-9783

FAX 03-3555-8569

E-mail：

fwk9816@mb.infoweb.ne.jp

担当副会長 鈴木 康雄

